

# 一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 26 年 5 月 27 日  
東村山市議会議長 様

議席番号 19 番  
質問者 島田 久仁

## 記

番号	質問の項目と要旨
1.	<p><b>介護保険第 6 期事業計画策定に向けて</b></p> <p>介護が少ない街として注目を集めている埼玉県和光市。「和光モデル」と呼ばれる独自のノウハウを学ぼうと年間 300 を超す視察が押し寄せているといいます。私自身、直接説明を受ける機会に恵まれ、介護予防などのノウハウもさることながら、介護保険に対する根底からの大きな意識変革を迫られました。</p> <p>それは、必要に追いかけてサービスを後追いで提供するのではなく、徹底したニーズ調査に基づいてその地域の介護をどうしたいのか保険者としての意思、グランドデザインを描くことが大切であるということ。また、地域ケア会議を通してご本人、ご家族合意のうえで適正な自立支援のためのサービスをふれずに貫いてゆくことが重要であると痛感したことです。</p> <p>当市では、特養等の施設のベッド数が周辺に比べ多いことや、要介護認定率も平均より高目であることなどが、サービス給付を押し上げ介護保険料に跳ね返っていると認識しています。6 期事業計画においては、特養の待機者を在宅で介護可能にする独自の地域包括ケアシステムを確実に機能させ、サービスに対して納得の保険料に近づくような計画策定を期待して伺います。</p> <p>(1) 日常生活圏域ニーズ調査について</p> <p>① ニーズ調査により、日常生活圏域ごとに特養待機者の実態（現時点で特養入所が最優先の方、在宅でも対応可能な方などの人数）は把握されているのか伺います。</p> <p>② 在宅介護の限界点をあげるという観点でみると、日常生活圏域ごとにどのようなサービスが足りないのか、必要なか把握されているのか伺います。</p> <p>③ 上記同様に住宅についてのニーズは圏域別にみてどうか伺います。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>(2) 新設された定期巡回・随時対応型サービスについて</p> <p>① 事業者とサービスを詰めておられると思いますが、可能な範囲で詳細を伺います。</p> <p>② 地域包括ケアを機能させる必要不可欠なサービスですが、地域の道路が病院や特養の廊下というイメージで、常に巡回しているチームがいて、随時の通報をうけて一番近くにいるチームが依頼場所に駆けつけるような仕組みになっているのでしょうか。</p> <p>③ 緊急時の通報装置や夜間の出入り口の力ギ等の対応も決定しているのか伺います。</p> <p>④ 将来的には圏域ごとに設置されるのが望ましいと考えますが、6期計画での考え方を伺います。</p> <p>(3) 地域ケア会議の質の向上について</p> <p>① 地域包括ケアが円滑に機能するためには、地域ケア会議の存在がますます重要になってきますが質の向上について6期計画でのお考えを伺います。</p> <p>② 地域ケア会議についての設置、運営要綱等を作成して関係機関の意識の統一を図ることも必要と考えるかがいかがでしょうか。</p> <p>④ その際、地域ケア会議で個別の自立支援・介護予防・重度化防止のケアマネジメントを積み重ねることが最適なOJTとしてケアマネ等の人材育成につながることを共通認識とする事への見解を伺います。</p> <p>(4) 市の独自事業について</p> <p>配食サービス、紙おむつ購入費助成などの独自事業も6期計画の中で見直し、さらに介護サービスと一体的に地域包括ケアを支える体制を整備すべきですがお考えを伺います。</p> <p>(5) 保険料について</p> <p>第5期計画時のように大きな保険料のアップはないと考えますが、特に中所得層の負担軽減についての考え方を伺います。</p> <p>(6) 総括して市長に伺います。</p>

番号	質問の項目と要旨
2 .	<p data-bbox="277 521 659 562"><b>うつ・自殺対策のその後</b></p> <p data-bbox="309 607 1394 1211">平成9年から平成10年にかけて、それまで年間2万人台前半で推移していた自殺者数が3万人を超えました。それ以降は、3万人を超える高い水準で推移をしています（※平成24年の自殺者数は、15年ぶりに3万人を下回っています）。また、自殺は国内の死因別の順位で第7位であり、主要7か国の中でも、男女とも日本が最も高い数字となっています。平成10年においては50代を中心とした中高年層と80代を中心とした高齢者層で自殺死亡率が高くなり二峰性の分布となっていました。平成20年には中高年層の峰も高齢者層の峰も共に低下しており、代わって20代～30代の若年層の自殺死亡率が上昇していることが懸念されます。こうした背景もあり、平成22年12月議会において、うつ・自殺対策について一般質問しました。その後の対応を含め今後の施策展開について伺います。</p> <p data-bbox="295 1267 1425 1350">(1) 当市の平成23, 24, 25年各年度に実施された自殺対策とその効果についてのお考えを伺います。</p> <p data-bbox="277 1413 1425 1637">本年4月、国の「地域自殺対策緊急強化基金管理運営要領」が改正され説明概要が周知されたことと思います。この事業は平成21年から開始され一定の効果を得てきましたが、事業開始後5年が経過し①真に自殺対策となる事業の実施②効果性が高い事業への重点化③財源が限られる中での事業の効率化を目指しており、対象となる具体的な事業も示されました。</p> <p data-bbox="295 1648 911 1686">(2) この改正についての見解を伺います。</p> <p data-bbox="295 1697 1425 1827">(3) 示された各対象事業（対面相談支援事業、電話相談支援事業、人材養成事業、普及啓発事業、強化モデル事業）について当市での今後の検討や実施の予定を伺います。</p> <p data-bbox="295 1839 1425 1971">(4) 上記の中で唯一個別の事業名で例が示されているインターネット等によるメンタルチェック「こころの体温計」について、内容やその効果に対する見解を伺います。</p>

**3. 久米川駅北口周辺のバリアフリー等への対応について**

平成 22 年 9 月の一般質問で伺った本町地域から、久米川駅北口へのアクセス道路の整備について等、進捗状況を伺います。

- (1) 栄町 1 丁目交差点の改良工事の経過と今後のスケジュールをわかる範囲で伺います。
- (2) 前回の質問時には、地域住民、利用者の声として交差点の形状などに意見や要望がありましたがそれらをどのように検討され、結論づけたのか伺います。
- (3) 特に、市道 357 号線の歩道部分については、新青梅街道栄町陸橋の側道と斜めに交差することから、変則的な形状の坂道であり、車いすの方、2 輪、4 輪の押し車の高齢者の方から危険との声を多くいただいています。この歩道の整備についてお考えを伺います。
- (4) 上記に関連して、久米川駅北口バス停へのベンチ設置について伺います。
  - ① ベンチの必要性に対する認識を伺います。
  - ② 一義的な設置義務者であるバス会社の見解を伺います。
  - ③ ベンチを設置する条件について、駅前広場管理者としての所管の見解を伺います。